

## 第 58 回 SATA 年次会議を日本で開催しました

2024年6月28日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）の主催により、第 58 回 SATA Annual Meeting（国際亜音速空力試験協会年次会議）を 6 月 2 日～6 日に京都で開催しました。

### 1. SATA について

SATA（Subsonic Aerodynamic Testing Association）は、大型亜音速<sup>\*</sup>風洞に関する会員制の協会で、このカテゴリーの風洞を所有している世界の公的研究機関、航空機や自動車メーカー、大学など 93 団体（2024 年 6 月 6 日現在）が加盟しています。

鉄道総研では、滋賀県米原市に風洞技術センター（以下、「米原風洞」）を設置し、大型低騒音風洞を用いた高速鉄道の空力騒音、空気力学的諸課題の研究開発を行っており、1998 年に SATA の会員になりました。

SATA の主な活動は、毎年 6 月上旬開催の年次会議（Annual Meeting）における議論や情報交換で、日本での年次会議の開催は、1998 年、2012 年に続き 3 回目となり、今回は鉄道総研が主催しました。

<sup>\*</sup> 音速より低い風速

### 2. 会議の開催概要

- ・ 日程：2024 年 6 月 2 日～6 日
- ・ 開催場所：都ホテル京都八条（京都市）、米原風洞（米原市）他
- ・ 参加者：76 名（19 ヶ国 54 団体）
- ・ 発表件数：38 件

会議では 4 日間で 11 のセッションが行われました。6 月 3 日のセッションでは、鉄道総研の古川敦理事によるウェルカムスピーチが行われました（写真 1）。その後、風洞技術者や研究者による、大型風洞を活用した研究開発、新たな風洞実験方法、風洞設備の維持管理などについて、発表と議論が行われました（写真 2）。鉄道総研からは、米原風洞を活用した 3 件の成果を発表しました。

また、6 月 4 日には、米原風洞における最高風速（400km/h）での送風などを見学するテクニカルビジットが行われました（写真 3）。

次回の第 59 回 SATA 年次会議は、2025 年 6 月に米国サンフランシスコ（主催：National Aerospace Solutions）で開催される予定です。



写真1 ウェルカムスピーチを行う古川敦理事



写真2 会議の様子



写真3 米原風洞の見学

(報道機関問い合わせ先)

公益財団法人鉄道総合技術研究所総務部 広報 TEL : 042-573-7219